



期日	令和5年6月14日 (水)	時間	19:00~20:00	場所	大関コミュニティセンター(児童クラブ室)
参加者	大関地区／8人 …(主な参加者)大関キッズクリーン隊、大関クリーン隊				
	坂井市／9人 …市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、建設部長、生活環境部長 ほか				

参加者からの意見・提案等

Q. 私たちは3年前から環境保護活動に頑張っています。まちなかや河口にどんなごみがあるか、大人と一緒に歩いて調べたら、食品トレーやペットボトルなどの家庭ごみがたくさんポイ捨てされていて、驚きました。

Q. 日本一「きれいなまち」になるために、池田市長に日本のリーダーになってほしいです。きれいなまちになるための「ルールづくり」が必要だと思うのですが、私たちから提案したら、応援してもらえますか。今度、ルールづくりで大切なことを話し合う「こども会議」をするので、ぜひ市長さんも来てください。

◆ 3年間の活動で分かったこと

落ちていくごみの量は、全然減っていない。
空き缶、ペットボトル、弁当の空箱、タイヤ、発砲スチロール…
分別して捨てられるごみがほとんど。ごみ拾いだけではごみは減らない。

◆ 私にできること・たくさんの人に伝えたいこと

捨てない。リサイクルや分別をしよう。使い捨て用品を使いすぎない。
マイボトル・マイバックを使おう。

◆ みんなで出し合った意見

食品トレーを無くしてほしい。プラスチック製品が減るといい。
環境を守るための条例をつくらるといい。

市からの返答

A. 市民だけでなく 大人の「ごみに対する意識」が低いのは残念。誰もが当たり前前に「ポイ捨てしない」という意識が 持てるまちにしたいです。

ごみを処分するためにお金をかけるよりも、少しでもごみを出さない「心がけ」の方が大事ですね。生ごみの捨て方を工夫する、再利用する、省エネ製品を使うなど、一人一人が「ごみゼロ」を意識して行動することが必要だと思います。

A. 皆さんのアクションプランは、素晴らしい提案ですね。

坂井市の職員も加わって、みんなで一緒にルールを形にしていきたいと思います。
大関地区の皆さんの取り組みはこれからも続けていただき、市内のほかの地域や学校にも広げたいと思います。全国にアピールしたいですね。

